

# ドクターオオヤマの視点 Doctor's Eye

第四回

スポーツに明け暮れた学生時代。  
体力も根性も、プランニング力も  
すべてはここから身につけた。

矯正一筋に30年余りのキャリアがある

大山矯正歯科の大山照彦院長。

自身を突き動かす原点は

スポーツとの深い関わりだった。



設計のプランニングを好む大山院長は、それを患者の治療計画で活かしている。患者それぞれで異なる矯正計画は奥が深い。「計画通りに決まると楽しい」と話す。



## 院長 大山照彦

岐阜歯科大学卒。朝日大学歯学部大学院で口腔組織を研究。成果を「セルフライゲーションシステム」に反映。日本矯正歯科学会認定医、各学会学術理事、名古屋歯科衛生士専門学校で歯科矯正学講師も務める。

**確**

かな知識と技術、そしてキャリアにより、名古屋矯正歯科界を牽引する『大山矯正歯科』の大山照彦院長。仕事プライベートと、チャレンジ精神が豊富で凝り性な性格を物語るエピソードに事欠かない大山院長だが、その信念を持った性格はいつ頃培われてきたのだろうか？「中学校に入って始めたバスケットボールがルーツかもしれませんね」

小さい頃から足が速く、中学校入学当方で170cm以上あったという大山院長。そんな恵まれた体格を持った少年は入学早々バスケットボール部にスカウトされ以後、高校、大学とバスケットボールを続ける。「中一の頃は練習についていくのが精一杯。うさぎ跳びもずいぶんやらされました(笑)。でも、そこでしっかり体づくりをしたことが今につながっている。大きな病気はもちろん、風邪ひとつひきませんね」。患者の手下である医師として自己管理は必要不可欠なもの。スポーツを通して

て、院長はその術を自然に身につけた。「スポーツで勝つために戦略を練るでしょ。それも今の仕事につながっているかな」と院長は続ける。矯正歯科治療は一定の期間がかかる。どれくらいの期間をかけてどういう治療をするのか事前にプランニングする。それはまさに、戦略を練ることともいえる。スポーツに打ち込んだ少年が矯正歯科界にフィールドを移して30年余り。この道を追求し続けることに迷いはない。

## DENTIST おもしろコラム

### 健康な歯で一生過ごすために 正しい知識を知ってほしい

日本では自分への投資として矯正治療を始める人が多いという話は以前大山院長に伺ったが、では、矯正治療を始めるのに最適な時期はいつなのだろう。「大人の歯が生えそろう前に始めるのがいいですね。成長の過程をうまく利用することで、高い確立で歯を抜くことなく治療ができます。そういった矯正治療の正しい知識を説明するのも専門医の仕事だと思っています」

## 矢場町 大山矯正歯科

おおやまきょうせいしつか

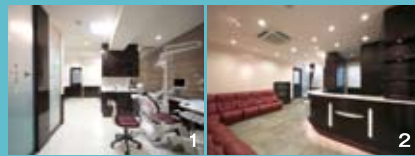
「地球に優しく、環境に優しく、人間に優しく」をモットーに矯正歯科専門医として20年以上の経験を持つ大山照彦院長による矯正歯科医院。最新の医療機器を駆使した最新の治療に力を注ぎ、矯正装置が他人からまったく見えない舌側矯正装置(リンガルブラケット)も、いち早く導入。メンテナンスの手厚さでも評判が高い。



### data

☎052・251・3332

📍名古屋市中区栄5-16-14 新東陽ビル2  
F 月～水/10:00～13:00 14:30～  
19:00、土・日/10:00～13:00 14:00～  
18:00 ㊟木、金、祝 ㊟保険適応。自由診療  
は相談料¥3,000、検査料¥43,000、矯正  
基本料金¥100,000～、調節料¥3,000～5,000、保定装置料  
¥40,000 ㊟なし ㊟地下鉄名城線矢場町駅3番出口から徒歩1分  
㊟要予約 ㊟www.ooo3332.com



1.待合室は天井が高く、大理石が敷かれた床などリラックスできるような広々とした空間。2.ユーモアのある大山院長のキャラクターに惹かれ、開院以来通う患者もいるとか。